

広報

大槌

広報おおつち NO.572

網と奮闘 銀鱗躍る
鉄路をつなごう JR 山田線
復興へ一歩
～相続をスムーズに進めるために



12

2013. 12. 5

目次

3	JR山田線シンポジウム	18	PHOTO まちかど 3年目の仮設 ~より良き暮らしのために~ 町長随想
4-5	大槌湾の秋サケ定置網漁	19	ひょうたん島日記
6-9	復興へ一歩 相続をスムーズに進めるために 復興基本計画の見直し	20-21	教育委員会だより 城山の風 第70号
10-13	平成24年度決算	22-23	まちのお知らせ 大槌町カレンダー
14-15	保健福祉課からのお知らせほか	24	大槌学のすゝめ 編集後記
16	大槌町地域包括支援センターのページ 楽笑高齢者になろう		
17	保健だより		

表紙の写真：定置網漁で獲れた魚を船倉に移す乗組員たち
= 11月14日午前3時40分、大槌湾



定点観測 (2013年11月21日、城山から)

鉄路をつなごう JR山田線

宮古でシンポジウム

震災で被災したJR山田線の鉄路をつなごうと、沿線4市町によるシンポジウムが11月9日、宮古市内の岩手県立大学宮古短期大学部で開かれました。住民代表の発表で、大槌高校2年生が早期復旧の必要性を訴えました。

シンポジウムは、大槌町と宮古市、釜石市、山田町が主催し、「みんなで考えるJR山田線の復旧」をテーマにして行われました。

基調講演があり、東京工業大学大学院教授の屋井鉄雄氏が「地域における鉄道の役割を見直そう」、交通ジャーナリストの鈴木文彦氏が「鉄道を支える地域のちから」と題して、それぞれ講演しました。

基調講演後、4市町による住民代表による意見発表がありました。宮古市の宮古駅前総合観光案内所の坂本季奈さんは「鉄道があるまちづくりが復興の基本」と強調しました。釜石市の鶴住居地区復興まちづくり協議会の大町元晴さんは「震災時、鉄道は第二の防波堤の役割を果たした。

復旧したら、使う努力、乗る努力をしたい」と述べました。山田町の木下志き子さんは「山田線は生活の一部だった。車と鉄道の共存を考えよう」と提案しました。

大槌町からは大槌高校2年の山崎丈さんと阿部美優さん、それに指導した大槌高校教諭の高橋洋先生が登場し、JR山田線の不通で、高校への進路選択が制限されている実情を話しました。

JR山田線は、盛岡駅から宮古駅を経由して釜石駅を結んでいます。震災で被災し、宮古駅から釜石駅までの55.4キロが寸断され、不通になっています。JR東日本がBRT（バス高速輸送システム）による仮復旧を提案したのに対し、4市町は、費用と時間を鉄道の本復旧に集中すべき、と拒否しました。

JR東日本が今春に示した復旧にかかる概算工費は210億円。原状復旧分が140億円、線路のかさ上げや駅舎の移転に伴う費用が70億円。JR東日本は、この70億円の支援を国に求めています。

大槌高校生の発表内容要旨

「復旧で進路選択の制限の解消を」

私たちは、現在、保護者の車やバスで通学している。バスが使えることはありがたいが、料金が高く、金銭的負担がとても大きい。中には保護者の送迎で通っている生徒もいる。保護者の都合もあるので毎日、同じ時間に送り迎えすることが難しく、日によって、部活動を途中で切り上げたり、校舎が閉まった後、外で1、2時間、送迎の車を待つたりすることがある。

特に、一番問題なのは、進路選択の制限。JR山田線があれば釜石の高校で商業を学びたかった、大学進学に向けて宮古や釜石の進学校に行きたかった、ラグビー部のある学校に通いたかった、という意見もあった。みんなJR山田線を利用して学校に通う予定だったが、鉄道が使えなくなったことで、自転車を通える学校や、保護者の送り迎えが可能な学校を進路選択しなければならなくなった。

今後、JR山田線が復旧しなければ、今の中学生や小学生にも、自分たちと同じ思いをさせてしまうことになる。せめて、今の中学生や小学生には、進路選択の制限がなされないように出来るだけ早く復旧し、鉄道を利用して毎日、通学できる環境を整えてほしいと強く願っている。

私たち高校生にとって、JR山田線は生活に不可欠な交通手段だ。JR山田線が復旧したなら、まず自分たちが積極的に利用し、自分たちの鉄道は自分たちで守っていく、という意識を後輩たちに受け継いで取り組んでいきたい。



意見を発表する右から大槌高校2年の山崎丈さん、阿部美優さん、大槌高校教諭の高橋洋先生=いずれも11月9日、宮古市の岩手県立大学宮古短期大学部



獲れた魚は手早く水揚げされセリにかけられた
= 11月14日午前5時50分、大槌港の魚市場



帰港する漁船を見送る海鳥たち= 11月14日、午前5時40分、大槌湾



水揚げされたサケを披露する左から露木晴雄さん、小石光夫さん、
松下隆夫さん= 11月14日午前6時30分、大槌港の魚市場



定置網の網起こしをする乗組員= 11月14日午前3時30分、大槌湾

網と奮闘 銀鱗躍る 最盛期迎えた秋サケ定置網漁

「まけー、まけー、早くまけー」。新おつち漁業協同組合の秋サケ定置網漁。大槌湾の沖野島漁場での網起こしで、漁の指揮をとる大謀、小石光夫さん(62)の怒声が飛びました。2隻の船の乗組員は23人。心を合わせて引いた網の中で、銀鱗が躍りました。

秋サケ定置網漁が最盛期を迎えた11月14日、漁協の定置網漁船に同乗しました。午前2時45分、2隻の漁船が大槌港を出港しました。「瀬谷丸」(19トン)と「第一久美愛丸」(19トン)です。零下2度、快晴、無風。満天の星空の下、2隻の船は6キロ先の沖野島漁場に向かいました。海面を滑るように走り、約25分で漁場に到着。網巻き機と人力で網起こしが始まりました。

震災がきっかけで破たんした旧漁協の定置網漁場は、沖野島、野島、長越、仲網の4カ所でした。震災で被災し、網が流されたり、海底にがれきが堆積したりしました。昨シーズン、沖野島1カ所で再開された定置網漁は、漁場の復旧が進み、今シーズンは野島、長越が加わり3カ所になりました。漁協の老朽した第20久美愛丸(14トン)、第25久美愛丸(14トン)の2隻の船は、瀬谷丸と第一久美愛丸の新鋭船に代わりました。瀬谷丸は横浜市瀬谷区の住民による募金で建造され、第一久美愛

丸は公益財団法人国際開発救援財団から寄贈されました。漁の環境が徐々に整ってきました。沖野島漁場の定置網は深さ70メートル、総延長は1キロを超え、三陸沿岸で有数の規模を誇ります。サケを誘い込む垣網、囲い込む身網、その先にある袋状の箱網、箱網に付属しサケをしまい込んでしまう金庫網。網起こしは、2隻の船で、この箱網を引き揚げる作業になります。

漁獲量は短時間の網起こしで決まります。乗組員全員の気持ちを一つにして、バランスを取りながら慎重に網を引き寄せないと、一網打尽にはできません。瞬時の判断や動作の遅れが、漁獲量に影響します。

約40分で沖野島漁場での漁が終わりました。サケは瀬谷丸の船倉に収められて網起こしし、大槌港をめざしたのは午前5時40分。群舞する海鳥が帰港する漁船を見送ってくれました。

オレンジ色の朝焼けが広がる中、魚市場で水揚げが始まりました。この日の水揚量は1,834尾。前日の2,891尾に及びませんでした。ちょうど1年前の11月14日に乗船した時の1,306尾を超えました。新巻用のサケを仕入れにきた仲買人の中里正義さん(68)は「量、質ともに昨年を上回っている。昨シーズンは品薄に泣いたが、今シーズンはいい新巻鮭がつくれそうだ」と喜んでいました。

この日の定置網漁を横浜市瀬谷区の住民が瀬谷丸に同乗して見学しました。漁による魚を地元のスーパーで販売することになったためです。

同乗したのは、横浜市を中心に52店舗を持つスーパー「そうてつローゼン」の水産部チーフバイヤー松下隆夫さん(45)と、募金活動をした「三陸沖に瀬谷丸を！」実行委員会会長の露木晴雄さん(33)です。

松下さんによると、スーパーでは、大槌で獲れた魚に「瀬谷丸」のラベルを張り、ブランド化して売るそうです。松下さんは「地元の方の生活基盤を崩さない範囲内で仕入れをしていきたい。三陸の商品が安全、安心だということを伝え、風評被害を吹き飛ばしたい」と語りました。

露木さんは「瀬谷丸でとった魚を横浜市内で売るといふ夢がかない、うれしい。息長く支援していきたい」と話しました。

秋サケ定置網漁の大謀
小石 光夫 さん

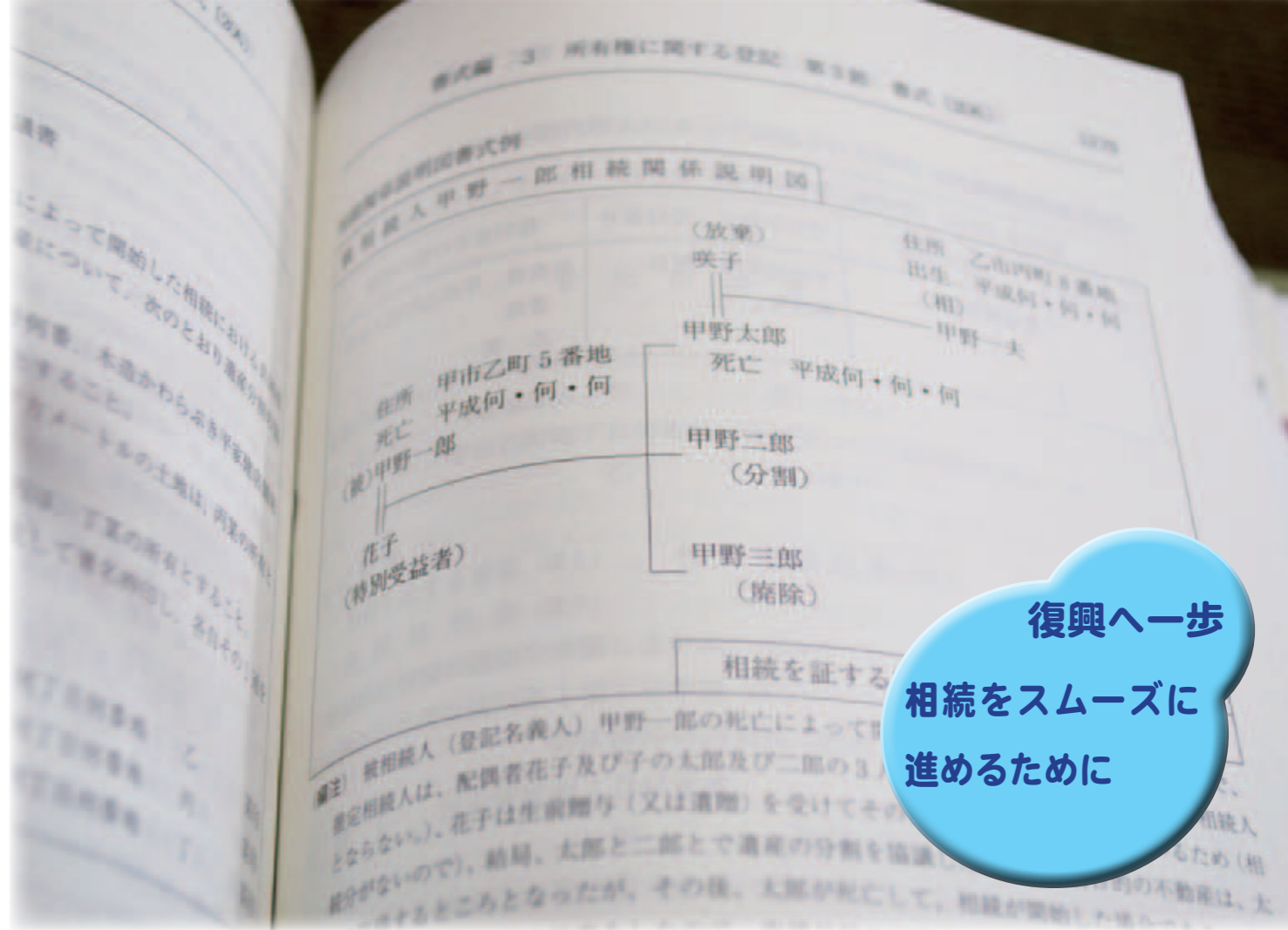


小石さんは震災で九死に一生を得て、昨シーズン、秋サケ定置網漁に戻ってきました。震災から3週間後、疲労から安渡の避難所で倒れました。敗血症と多臓器不全。11日間、意識不明の状態が続き、死の淵から生還しました。

震災前、旧漁協で副大謀から大謀になり、漁を指揮してきました。でも、病院を退院後、気力がわきませんでしたが。浜から離れることも考えました。復帰を決断したのは瀬谷区民による募金活動でした。「都会の人たちに助けられ、ここでやめたら漁師魂がすたるよ」

漁に戻ってから1年余。「漁場は戦場」という小石さんは、11月14日の網起こしでも鬼の形相になり、乗組員を叱咤激励しました。漁を終えて和やかな表情を取り戻し、こう話しました。「これからは、われわれが恩返しをする番。新巻鮭発祥の地の誇りを胸に、瀬谷区の方々に、新鮮なサケを送り込み食べてもらいたい」

復興へ一歩
相続をスムーズに進めるために



相続人の中に所在不明の人がいる場合は、その所在不明の相続人は『不在者』としての取り扱いとなり、相続人（配偶者、子、親、兄弟姉妹）がないときは『相続人不存在』という取り扱いとなります。『相続人不存在』の場合は、最終的には国の所有となります。しかし、国の所有となるまでには、一定の手続きが必要で、その中で縁故者に帰属させるなどの手続きがとられることもあります。」

ている場合は、転籍元の除籍謄本も取得してください。相続人の中に亡くなった人がいる時は、その人の子の戸籍謄本も取得して下さい。次に、土地を始め、遺産を漏れなく把握しておいて下さい。それと、誰がどの遺産を取得するかを決めておいていただく、相続登記の手続きがスムーズに進み、用地の交渉も進みやすくなります。」

「私も司法書士は相続人同士の協議に関与することが出来ませんので、相続人の間で、どの遺産を誰が取得するかを決めておいていただければ手続きがスムーズに進みます。」

—これから相続登記をして用地交渉に応じるという方々にアドバイスをお願いします。

「まず、遺言書があるかないかを確認して下さい。遺言書があれば、相続人がどのくらいいるのかを捜します。そのために、被相続人（登記名義人で亡くなった方）の戸籍謄本、除籍謄本を可能な限り取得して下さい。戸籍謄本などは郵便でも請求して取得出来ますので、転籍をし

相続とは：ある人が死亡したときに、その人の持っていた財産を死亡した人と一定の身分関係にある人が受け継ぐということです。

被相続人：相続される人。
 相続人：相続する人。
 相続人の範囲：配偶者、子、親、兄弟姉妹に分かれており、配偶者は常に相続人となります。
 相続分：各相続人が遺産全体に対して相続できる割合。
 相続の放棄：相続人が、家庭裁判所で、遺産を相続できる権利を放棄すること。

広報大槌11月号（NO570）で用地交渉の現場で町役場職員がどのように苦労し、どういった課題があるのかや、交渉の流れについて説明しました。用地交渉が進まないケースにはいくつかの理由がありますが、今回は「相続登記」についてとりあげます。早期に相続の手続きを完了するにはどのようなことが必要なのか。事務処理で定期的に大槌町を訪れている盛岡市の堀合・亀田司法書士事務所の亀田洋吉さんにお話を伺いました。



亀田 洋吉さん
 堀合・亀田司法書士事務所
 司法書士。1年前より大槌町からの委託で相続に関する事務手続きを行っている

—相続の手続きにはどのような手順を踏まれるのでしょうか？

「まず、その土地の所有者の相続人がどのくらいいるかを戸籍謄本を収集して確定します。戸籍は、津波の被害で滅失しましたが、現在は復元されて戸籍謄本の収集には支障ありません。相続人が確定したら、相続人の間で話し合いをしていただき、遺産を誰が相続するかを確定し

ていただきます。その結果から遺産分割協議書を作成し、その後の手続きを進めます。」

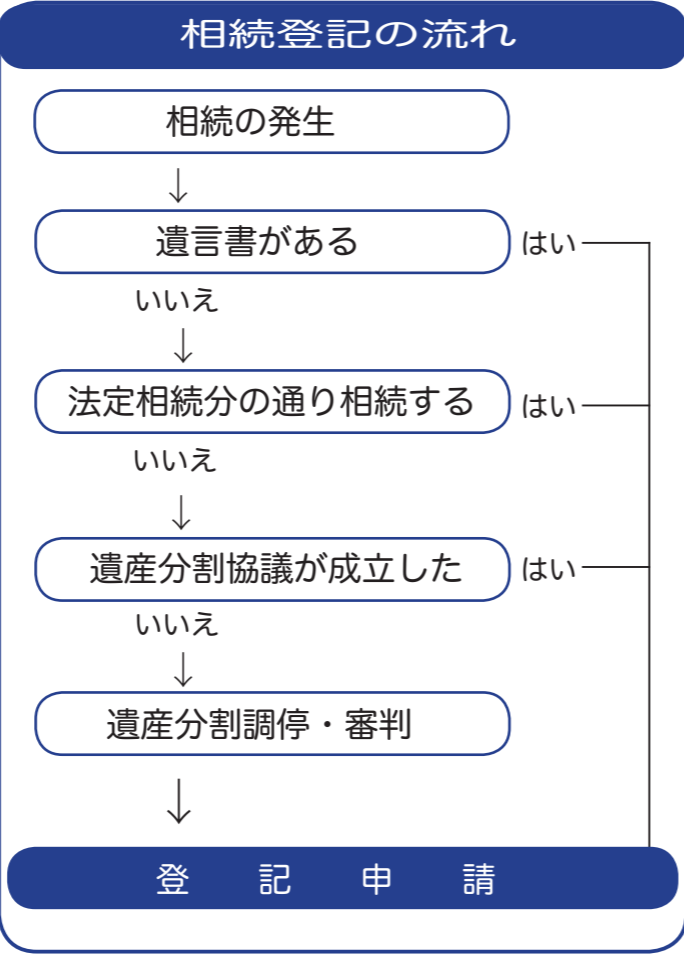
—相続の手続きが進まないケースにはどのようなものがありますか？

「被相続人が亡くなった後、相続の手続きがなされなされないままになつていた場合です。相続という制度は明治時代から始まりましたが、当時の被相続人のままになっている場合、現在の相続人がおおよそ100人ほどになる事例もあります。こういった事例の場合は、相続人を確定させるための戸籍謄本などの収集や、遺産分割の話し合いをすることに非常に多くの時間が必要となる可能性があります。」

「相続人が岩手県内だけでなく全国各地に散らばっている場合もあり、書類の収集に膨大な時間を要する場合があります。中には、土地が誰のものかわからないケースもあります。住所が登記されておらず、名前しかないので、共同の墓地の中には『他何名』と記載されているもの、戸籍簿や住民票などに記載されておらず生死が分からないといったものもあります。」

—相続人がわからないといった場合はどのような措置がとられるのでしょうか？

「相続の手続きを開始したが、共同



相続に関するご相談は下記をご利用ください

岩手県司法書士会による無料法律電話相談

- ◆実施期間 毎週月曜日～金曜日
- ◆受付時間 10:00～13:00
- ◆相談内容(例) 「自宅が亡くなった祖父の名義のままになっている」「相続人の中に行方不明者がいて話し合いができない」「亡くなった父親に借金があることが判明した」

電話相談 0120-823-815 (フリーダイヤル)

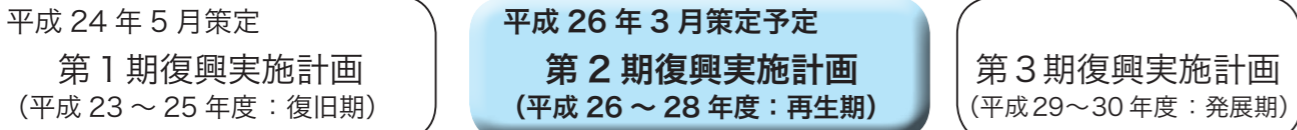
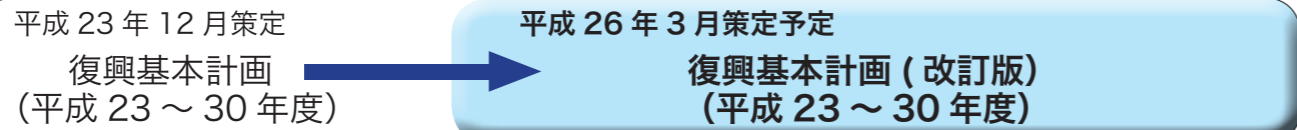
法テラス大槌

事前にご予約頂けるとお待たせせずに済みますのでまずはお電話を下さい。

- ◆相談予約・お問い合わせ 0503383-1350
- ◆業務時間 平日 9:00～17:00 (土日・祝日及び年末年始を除く)
- ◆相談時間 平日 10:00～16:00 (土日・祝日及び年末年始を除く)

住所 岩手県上閉伊郡大槌町上町 1-3 (大槌町役場敷地内)

復興基本計画に皆さんの声を反映させ見直します

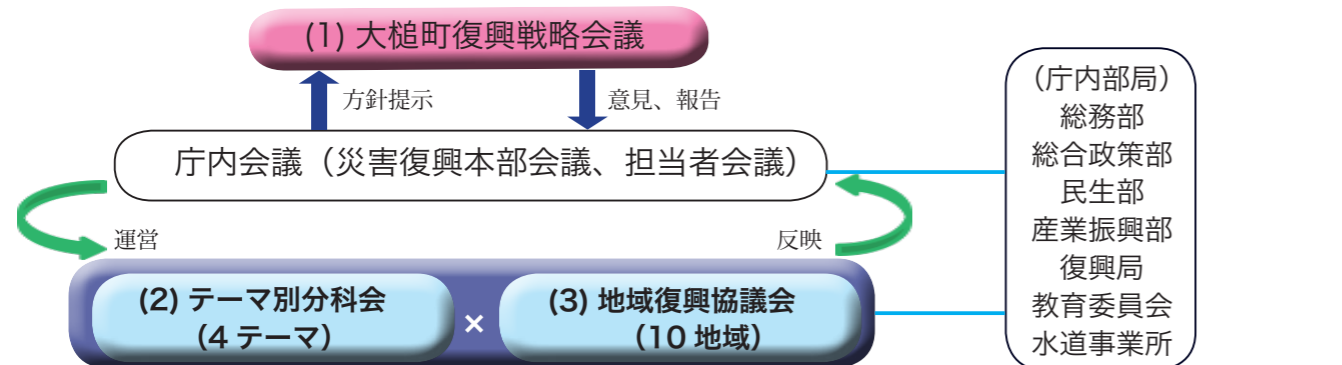


現在、町では平成 23 年 12 月に策定した復興基本計画の見直しを進めています。これは復興事業など基盤整備の方向性が定まりつつある中で**日常の生活を支える福祉、コミュニティ、産業、交通、教育、文化**など主にソフト面を中心とした施策を充実させるための方向性を打ち出すものです。

また、あわせて、第 2 期復興実施計画を策定し、基本計画の方向性を実現するために平成 26 ~ 28 年度に実施する事業をまとめます。

これらにより、子どもからお年寄りまで将来の大槌町に夢を抱いてもらい、町民、事業者、地域、NPO、行政が一体となって復興に向かって進んでいけるまちづくりを目指します。

1 計画見直しについての体制



策定にあたって以下の会議を開催し、そこで出された意見を踏まえて役場で計画作りを行っています。

- (1) **大槌町復興戦略会議** 有識者など 12 人の委員が総合的・戦略的な視点で計画方針を検討し、提言します。
- (2) **テーマ別分科会** 町全体の復興まちづくりを進めていくうえで重要となる 4 テーマ (①土地利用・社会基盤 ②福祉・コミュニティ ③産業 ④教育・文化) について、専門の見地から検討します。
- (3) **地域復興協議会** 町内を 10 地域に分けて復興まちづくりについて話し合います。

2 今後の予定

来年 3 月の策定に向けて、現在、地域復興協議会、テーマ別分科会を開催しています。地域復興協議会は、対象地域に関心をお持ちであればどなたでも参加いただけます。テーマ別分科会は職員と町内の関係団体などによる会議で傍聴いただけます。現在決まっている予定は下記の通りですが、ホームページ、チラシ、おおつちさいがいエフエムなどで随時お知らせしますので、町民のみなさんの幅広い参加をお待ちしています！

<地域復興協議会>

- 12/13(金) 19:00-21:00 第 2 回小槌地域の将来を考える会 (小槌多目的集会所)
- 12/14(土) 10:00-12:00 第 2 回大槌川中・下流地域 (沢山・和野~大ヶ口地域) の将来を考える会 (大ヶ口集会所)
- 12/14(土) 18:00-20:00 第 2 回桜木町・花輪田・白沢地域の将来を考える会 (桜木町会館)
- 12/20(金) 19:00-21:00 第 3 回浪板地域の将来を考える会 (浪板交流促進センター)
- 12/21(土) 10:00-12:00 第 3 回金沢地域の将来を考える会 (金沢公民館)
- 12/21(土) 13:30-15:30 第 2 回住みやすい安渡をつくる会 (旧安渡小学校)

復興計画情報パネル展を実施します

日時：12月7日(土)、8日(日) 10:00~19:00
場所：マスト2階 情報プラザ
テーマ別分科会や地域復興協議会の情報を大きなパネルで公開します。

復興計画を見直すのにあなたの意見が必要です！



活発な議論が交わされた福祉・コミュニティ分科会 = 10月29日、町役場会議室



小槌地区で開かれた第 1 回地域復興協議会 = 11月10日、小槌多目的集会所

お問い合わせ 町総合政策課 TEL 0193-42-8724

まちづくり懇談会の開催について

町では、震災復興土地区画整理事業の施行にあたり、下記の通り事業計画の変更に伴うまちづくり懇談会を開催いたします。

また、吉里吉里地域、町方、小枕・伸松地域については、防災集団移転促進事業住宅団地の宅地募集等の説明も行いますので是非ご参加ください。

地域	日付	時間	場所
吉里吉里地域	12月16日(月)	午後6時30分から	吉里吉里中学校体育館
赤浜地域	12月17日(火)	午後6時30分から	旧赤浜小学校体育館
安渡地域	12月18日(水)	午後6時30分から	旧安渡小学校体育館
町方、小枕・伸松地域	12月20日(金)	午後6時30分から	城山公園体育館

お問い合わせ 町都市整備課 TEL 0193-42-8723

復興工事 安全祈願祭が行われました

11月7日、赤浜、安渡、吉里吉里地区において大槌町、工事関係者、地元住民らによる復興工事に関する安全祈願祭が行われました。くわ入れなどの神事が済んだ後、安全祈願祭で碓川豊町長は「震災から2年8カ月、町並みの概要が明らかになってきた。まちづくりを話し合ってきた町民の方々に感謝申し上げたい。町民と一丸になってこだわりのある美しい町づくりに取り組みたい」とあいさつしました。赤浜地区の安全祈願祭では、地元の赤浜地区復興を考える会の川口博美会長が「様々なジレンマがある中で、まちづくりの結論にたどりつくことが出来た。今日の日を迎え、感無量」とあいさつしました。



神事で関係者によるくわ入れがありました

用語解説

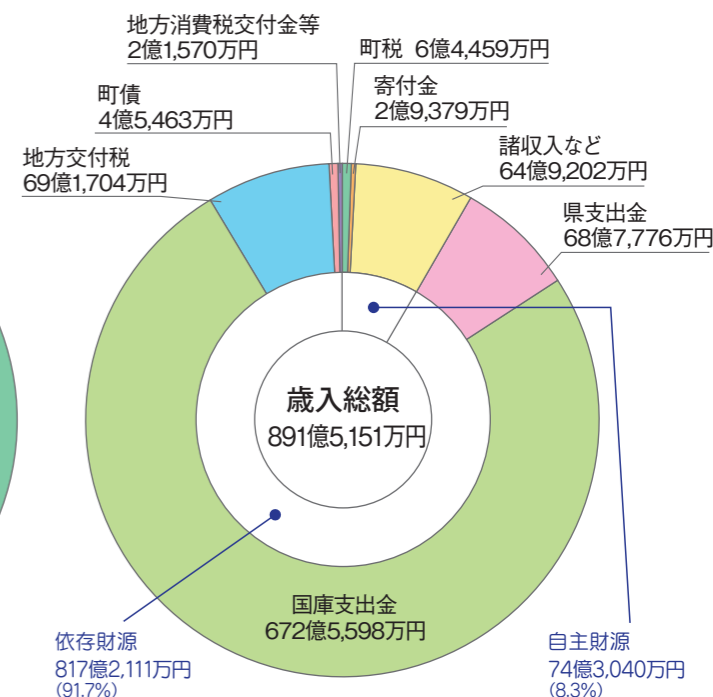
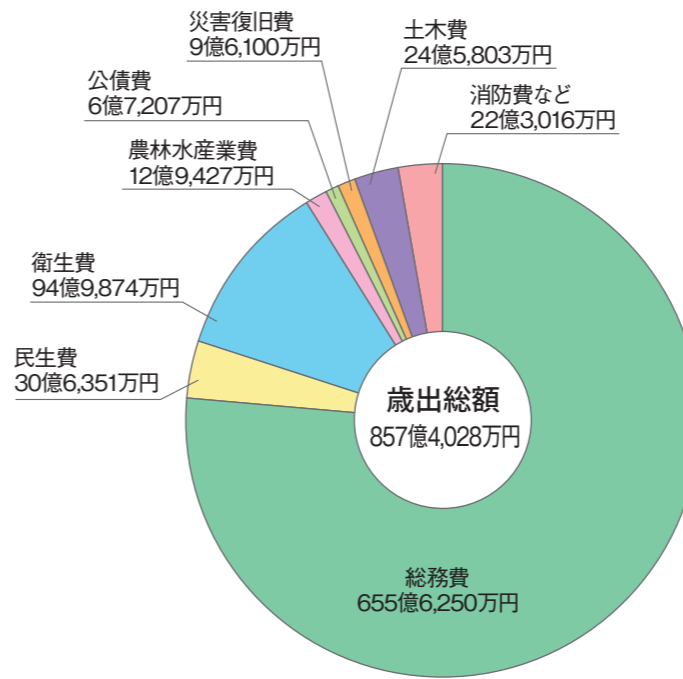
- ▶物件費／施設の管理費や物品購入などの経費
- ▶扶助費／医療費や児童手当など
- ▶災害復旧費／震災で被害を受けた道路の補修、仮設小中学校の賃借料など
- ▶補助費等／他団体に支払う補助金など
- ▶人件費／町の特別職や一般職など
- ▶普通建設事業費／道路や教育施設の整備など公共的施設建設などの経費
- ▶公債費／借入金の返済にあてる経費

特別会計

歳入	会計名	歳出
24億9,349万円	国民健康保険	22億8,862万円
2,565万円	簡易水道事業	2,442万円
19億786万円	下水道事業	19億545万円
5億4,764万円	漁業集落排水	5億4,268万円
15億6,276万円	介護保険	15億3,291万円
9,252万円	後期高齢者医療	9,174万円
66億2,992万円	総額	63億8,582万円

歳出の性質別内訳

区分	決算額	構成比
積立金	630億247万円	73.5%
災害復旧費	119億3,700万円	13.9%
普通建設事業費	28億1,061万円	3.3%
補助費等	23億3,545万円	2.7%
物件費	17億116万円	2.0%
扶助費	11億103万円	1.3%
人件費	10億640万円	1.2%
繰出金	9億6,773万円	1.1%
公債費	6億7,207万円	0.8%
その他	2億636万円	0.2%
総額	857億4,028万円	100%



一般会計の内訳

9月定例町議会にて、平成24年度一般会計と特別会計の決算が認定されました。

一般会計については、歳入（収入）が891億5,151万円（前年度比61.1億3,243万円増）、歳出（支出）が857億4,028万円（同61.3億2,440万円増）となりました。

これは、防災集団移転促進事業や都市再生区画整理事業など東日本大震災復興交付金事業の平成27年度までの事業費など（約570億円の国庫補助金）が交付されたために増加しました。この交付された補助金は基金に積み立て、毎年の復興交付金事業の進捗により基金から取り崩して復興事業を進めます。

歳入（収入）のうち、町税や使用料など、町が独自に確保できる自主財源は74億3,040万円で全体に占める割合の8.3%でした。町税や使用料などは震災以前より減収していますが、繰入金や繰越金が増加したことにより、歳入全体では前年度比153.7%増となりました。

一方、地方交付税や国・県補助金などの依存財源は817億2,111万円で、このうち国庫支出金が歳入全体の75.4%を占めています。次いで地方交付税が7.8%、県支

出金が7.7%となっており、国・県に依存している状況です。

歳出（支出）の目的別では、総務費が655億6,250万円で歳出全体の76.5%を占めており、復興交付金基金等への積立金630億2,477万円が要因となっています。次いで、災害廃棄物処理事業等を行っている衛生費が94億9,874万円と、歳出全体の11.1%を占めています。

東日本大震災により、町税などの自主財源の減少が見込まれますが、限られた財源を効率よく活用し、一日も早い町の復興に取り組んでいきます。

町税の内訳

区分	決算額	構成比
町民税	2億6,587万円	41.2%
固定資産税	2億2,503万円	35.0%
町たばこ税	1億3,052万円	20.2%
軽自動車税	2,308万円	3.6%
鉱山税	9万円	0.0%
合計	6億4,459万円	100%

一般会計歳出は857億4,028万円

主に次のように活用しました。

被災した方の暮らしを支える事業

○災害弔慰金事業 10億4,010万円

東日本大震災により死亡・行方不明となった方の遺族へ災害弔慰金（105件）を給付しました。（平成24年度申請分）

○生活再建住宅支援事業 5,637万円

被災した方の住宅補修、住宅新築または住宅購入に対して補助しました。（バリアフリー・県産木材使用等）

○被災者住宅再建支援事業 5,975万円

被災した方が行う、住宅新築または購入に対して補助しました。（上限100万円）

○被災者独自支援事業（大槌町独自） 5,518万円

被災した方が行う、住宅新築または購入に対して150万円（実績36件）、引越補助金上限10万円（実績18件）を大槌町が独自に補助します。

○災害救助費 1億3,169万円

町内の仮設住宅団地（44団地）の土地借上げ料です。

○仮設住宅環境周辺整備事業 1億90万円

仮設住宅周辺の道路の待避所整備や側溝改修などの環境整備を行いました。

災害に備えるまちづくり・防災事業

○自治体クラウド導入事業 2億6,066万円

町の基幹システム（住民基本台帳システムなど）を災害による流失から守るため、大切なデータを遠隔地で管理します。

○地域イントラネット基盤整備事業 1億8,459万円

被災した地上波デジタル放送施設やインターネット提供施設を復旧しました。

○非常備消防事業（消防団） 4,294万円

消防団員報酬及び手当、被災した消防団の消火活動に必要な資機材を復旧しました。

○非常備消防施設及び共通施設管理事業（消防団） 9,588万円

仮設消防団所に仮設車庫を設置。また、被災した消防車両（3台）購入などを実施。

○防災行政無線運営事業 140万円

被災した防災無線を復旧するとともに、防災無線のデジタル化を実施しました。

産業の振興に

○東日本大震災に係る水産業復旧事業 8億8,809万円

水産業の復興のため、漁船・定置網・養殖施設等の復旧に対して補助しました。

○水産業共同利用施設復興整備事業（民間公募タイプ） 1億2,827万円

水産加工施設などを誘致して雇用の拡大と水産業の復興を進めるため、事業者に対して補助しました。

○地域水産物の活用推進事業 1,062万円

鮭イベント、水産物PRイベント、学校給食での食育等で地元水産物の振興を図りました。

○震災等緊急雇用対策事業 5億226万円
震災による事業増加に対応するため現場臨時職員の雇用(146名)や町内での新たな雇用の創出、正規雇用や資格取得へ繋げる団体(11事業)への委託料として実施しました。

○雇用関係助成事業 858万円
雇用の安定、雇用機会の増大のため、町内企業等に対する助成金を交付しました。

○元村地区農産物加工集施設改修事業 358万円
新たな地場産品を生産するため、旧JA金沢支所を改修して生産加工所に整備しました。

○被災農家農業用機械等リース事業 614万円
被災農家組合へ町が購入した農業用機械を無償貸付し、農業の再生を図ります。

○被災事業者支援事業 7,313万円
被災した事業者の事業再開のため、中小機構仮設施設用地の借上げや事業再開を支援しました。

○浪板海岸海底砂量調査委託事業 205万円
浪板海岸沖合の砂の量や地形の東日本大震災による影響を調査しました。

健康づくり・子育て環境の充実のために

○東日本大震災地域支え合い事業 2億625万円
高齢者等共同仮設住宅(4力所)、高齢者等サポート拠点(3力所)の運営委託と浪板地区サポートセンターを設置しました。

○予防接種事業 2,722万円
各種予防接種を実施し、高齢者肺炎球菌とインフルエンザ予防接種に対し助成を行いました。

○がん検診事業・がん検診推進事業 1,555万円
特定年齢の方に対し、各種がん検診を無料で実施し、がん予防の普及啓発を行いました。

○乳幼児、妊産婦及びひとり親家庭医療給付事業 1,100万円
乳幼児、妊産婦及びひとり親家庭へ医療費の一部助成を行いました。

○すこやか子育て医療給付事業 339万円
大槌町が独自に中学生以下の子供の医療費の自己負担分を軽減します。

教育・文化の充実に

○大槌町奨学資金貸付事業 552万円
経済的理由で就学困難な生徒・学生に奨学資金を貸し付け、就学援助を行いました。

○私立幼稚園就園奨励事業 1,150万円
私立幼稚園児の保護者の所得に応じ、入園料と保育料軽減のため私立幼稚園設置者へ交付しました。

○要・準要保護児童就学援助事業 3,374万円
被災児童生徒等の学用品費、給食費及び修学旅行費等の一部を援助しました。

○外国語指導助手業務委託事業 510万円
外国人英語指導助手を小中学校へ派遣して英語教育の充実を図ります。

○吉里吉里中学校仮設運動場整備事業 1,611万円
被災した農村広場を吉里吉里中学校の校庭として使用するため、復旧整備を行いました。

○文化財保護普及事業 449万円
町内の復興事業および住宅建設に伴う埋蔵文化財調査、町民文化祭等を実施しました。

住みたいまちをつくる事業

○東日本大震災犠牲者合同追悼式事業 1,549万円

平成25年3月11日に、東日本大震災犠牲者合同追悼式を開催しました。

○広報おつち発行及び町勢要覧作成事業 775万円
広報おつちを月2回発行しました。また、町外へ避難している方(1,500名)へ郵送しています。

○町民バス運行事業 4,743万円
仮設住宅間や町内を運行する町民バスを運行委託しました。

○福祉灯油助成事業 237万円
当制度対象世帯(475世帯)に、灯油購入費用の一部を助成しました。

○災害廃棄物処理事業 90億7,887万円
東日本大震災により発生した災害廃棄物の処理、倒壊建物の撤去、沢山地区にある中間処理施設委託などを行いました。

○公共土木施設災害復旧事業 5億2,920万円
被災した町道、河川、公園などの災害復旧工事を実施しました。

○塵芥処理事業 1億2,787万円
ごみ収集の運搬委託と岩手沿岸南部広域環境組合に対するごみ焼却の負担金等です。

○社会教育施設災害復旧事業 665万円
被災した上町ふれあいセンター、桜木町保健福祉会館、浪板交流センターの備品、設備の復旧をしました。

○行政機能応急復旧事業 7億5,236万円
復興事業を前進させるため、全国から派遣職員を増員して、復興体制を強化するために、また町民を交えた復興会議や用地説明会を開催するため、旧大槌小学校を改修し、役場庁舎として復旧しました。

健全化判断比率および公営企業の資金不足比率を公表

当町は健全な財政状況です

(平成24年度決算による)

自治体の財政破綻を未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して、早期健全化を促すために平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。この法律により、健全化判断比率として4つの指標(①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債比率④将来負担比率)と公営企業の経営状況を示す資金不足比率をお知らせします。

健全化判断比率のうち一つでも早期健全化基準以上となった場合は、経営健全化計画を定め、財政の健全化を図らなければなりません。
平成24年度決算に基づき算定された健全化判断比率などは下表のとおりです。いずれの指標も基準を下回っており、大槌町は健全な財政状況です。

健全化判断比率

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	40.00
実質公債費比率	11.4	25.0	35.0
将来負担率	—	350.0	

※各合計で赤字はありません
※将来負担比率は、将来財政を圧迫する可能性を示すもので低いほど良好なものです。

公営企業の資金不足比率

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準
水道事業会計	—	20.00
簡易水道事業特別会計	—	20.00
下水道事業特別会計	—	20.00
漁業集落排水処理事業特別会計	—	20.00

※公営企業においては、資金不足はありません。

財政の健全度を判断する指標

4つの指標で判断します

- ▼実質赤字比率
地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。
- ▼連結実質赤字比率
全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すものです。
- ▼実質公債費比率
借金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。
- ▼将来負担比率
地方公共団体の一般会計の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

公営企業は次の指標で判断します。
▼資金不足率
公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

財政課財政班
TEL 0193(42)8712

保健福祉課からのお知らせ

▶平成 26年度保育所(園) の入所申込受付を開始します

■入所申込受付期間 1月6日(月)～1月10日(金)、1月14日(火)～1月18日(土)

■入所申込受付日程

受付場所			定員	受付日	受付時間
保育所(園)名	住所	電話			
町立安渡保育所	小鎚第22地割地内	0193-42-3037	45人	1月6日(月)	15:00～16:30
私立大槌保育園	小鎚26-161-5	0193-42-2136	60人	1月7日(火)	
私立吉里吉里保育園	吉里吉里1-302-7	0193-44-2535	60人	1月8日(水)	
私立堤乳幼児保育園	吉里吉里2-2-2	0193-44-2838	60人	1月9日(木)	
私立大ヶ口保育園	大ヶ口1-18-12	0193-42-6977	30人	1月10日(金)	
保健福祉課 窓口	上町1-3	0193-42-8715	平日	1月6日(月)～1月10日(金) 1月14日(火)～1月17日(金)	9:00～14:30 9:00～17:15
			土曜日	1月18日(土)	9:00～13:00

■入所資格

乳幼児を保育するご家族の事情が次のどれかに該当する場合(ただし、①から⑥までの場合であっても、保護者以外の同居の親族が保育できる場合は該当しません)

- ①親が日中、家庭以外で仕事をしている場合
- ②親が日中、家で家事以外の仕事をしている場合
- ③親が病人などの介護を行っている場合や、精神もしくは身体に障がい有している場合
- ④母親が妊娠中であるか、または出産後間もない場合
- ⑤家庭が災害に遭いその復旧の間、児童の保育ができない場合
- ⑥①～⑤に類する状態にあり、町長が認める場合

■申込方法

①現在、お子さんが保育所(園)に入所している場合
入所している保育所(園)から必要な書類を受け取り、必要事項をご記入の上、受付当日に提出してください。

②来年度初めて入所するお子さんの場合
町内保育所(園)または保健福祉課窓口に備え付けの入所申込書等に必要事項を記入し、入所を希望する施設の受付当日に提出してください。

※希望する保育所(園)の欄には、必ず第2希望(できれば第3希望まで)を記入してください。

※入所申込書等は保健福祉課または各保育所(園)にありますので、事前に取りに来てください。

※町内に住民登録が無い人は、住民登録されている市町村に申し込みとなります。

▶大槌町託児所の平成 26 年度入所申込を受け付けます(※)

■入所受付期間 12月16日(月)～18日(水)

■申込書配布および受付場所 大槌町託児所(小鎚第13地割3-4) Tel 0193-45-2160

※申込児童数が5名未満の場合は今年度末で閉所となる場合があります。ご了承のうえお申し込みください。

■提出するもの

- ①保育所入所申込書、家庭状況申告書、同意書
- ②各証明書(就労証明書、各種申込書など)
※同居している65歳未満の祖父母も含みます。
- ③平成25年分源泉徴収票(写)又は確定申告書(写)
※父母ともに必要です。
- ④保育料口座振替依頼書(毎月25日に、指定の金融機関から引き落としされます。通帳に使用している印鑑を押印してください。)

※指定金融機関…岩手銀行、北日本銀行、花巻農業協同組合、岩手県信漁連、宮古信用金庫

※提出の際、印鑑を持参してください。

■保育料について

保育料は前年の所得税額や町民税額、年齢などを考慮し算定されます。

■主な特別保育事業

業名	内容	実施施設
延長保育事業	19:00まで保育します	私立保育園全施設
一時保育事業	緊急に保育が必要になった場合に対応します	私立大槌保育園 私立堤乳幼児保育園

保健福祉課 地域福祉班 Tel 0193-42-8715

保健福祉課 地域福祉班 Tel 0193-42-8715

総務課からのお知らせ

▶平成26年大槌町新年交賀会の開催のお知らせ

新年を迎えるにあたり、復興への誓いを新たにするとともに、町民一丸となって復興に取り組んでいくための交流の場として、平成26年大槌町新年交賀会を左記のとおり開催します。

- 日時 平成26年1月6日(月)午後1時～
- 場所 三陸花ホテルはまぎく
- 申込方法 総務課総務班(庁舎2階)で会券を販売しておりますので、会費を添えて事前にお申し込み下さい。申し込みの締め切りは、12月25日(水)まで。なお、会場の都合により先着230名で締め切らせていただきます。
- 大槌町新年交賀会実行委員会事務局(総務課) Tel 0193(42) 8710

農林水産課からのお知らせ

▶地域農業・集落活性化事業について

市町村やNPO、民間団体等との適切な協働関係に基づき、3戸以上の農家の任意のグループを対象とし、地域の将来像の実現に向け、生産、加工、販売などの新たな取り組みを募集し、その優良な企画に対して経費の一部を補助します。

- 対象の取組み
 - ①新規作物の導入
 - ②農産物加工
 - ③販路の新規開拓
 - ④その他
- ※2グループまでとする
- 補助額 3分の2(県3分の1、町3分の1)ただし、上限は40万円
- 受付期間 平成25年12月末日まで
- 農林水産課 農林班
Tel 0193(42) 8717

商工労政課からのお知らせ

▶「第2回産業集積地(新町地区、安渡地区)に関する事業者向け説明会」を開催します

町は、町内業者の事業再建先や新規事業の立地先として、新町地区および安渡地区に産業集積地の整備を検討しており、来年度以降、順次供用が開始されていく予定です。つきましては、利用事業者の公募に向けた手続きやスケジュールを事業者の皆さまにご説明することを目的として、左記の通り「第2回産業集積地(新町地区、安渡地区)」に関する事業者向け説明会」を開催いたします。

■日時 12月26日(木) 18時から

■場所 大槌町役場3階 大会議室

■対象 産業集積地(新町地区、安渡地区)の利用を希望されている事業者(震災以降に新たに立地された事業者も含まれます)

■納付および納税相談の夜間窓口開設について

12月25日は、町民税第4期と国民健康保険税第6期の納期限です。

税務会計課では、日中の時間帯に納付または納税相談等が困難な人に対し、下記の日に窓口を開設しますので、ご利用ください。

- 期日 平成25年12月20日(金)と24日(火)、25日(水)の3日間
- 時間 17時15分から19時まで
- 場所 町役場仮庁舎1階 税務会計課
Tel 0193(42) 8725

税務会計課収納班

Tel 0193(42) 8711

環境整備課からのお知らせ

▶町道の通行止めのお知らせ

冬期間、積雪による安全確保のため、新山地区町道を通行止めいたします。

■路線 ①新山1号線の一部

②新山2号線の一部

③新山5号線の全部

■期間 12月20日(金)～平成26年4月15日(火)

■その他 積雪の状況により、変更する場合があります。

■環境整備課 庶務管理班
Tel 0193(42) 8722

生涯学習課からのお知らせ

▶東大教室@大槌 受講者募集

東大の講義を気軽に！中央公民館にオープンした「大槌文化ハウス」で公開講座を開催します。受講料は無料です。是非ご参加ください。

○鳥の教室―砂礫と植生の鳥類学

■日時 12月20日(金) 15時30分から17時

■講師 松原 始・東京大学総合研究博物館特任助教(動物行動学)

○空間の教室―大槌のまちづくりを考える

■日時 12月20日(金) 18時30分から20時

■講師 松本文夫・東京大学総合研究博物館特任准教授(建築学)

■対象 町内在住または在勤の人(高

校生以上)
Tel 0193(42) 8711

「きらり!えん旅」アグネス・チャンさんのコンサートを開催します



東日本大震災で大きな被害を受けた地域を励まそうと、市町村を訪ねるNHK・BSプレミアム番組「きらり!えん旅」の中で歌手のアグネス・チャンさんが大槌町でミニ・コンサートを開催します。また、それに合わせ整理券を配布します。

■整理券の配布について

〈配布場所〉大槌町中央公民館 窓口
〈配布日時〉12月9日(月)～12月16日(月) 10:00～16:00

■コンサートについて

〈場所〉城山中央公民館 大会議室
〈日時〉12月18日(水) 〈開場〉14:30 〈開演〉15:00

■(株)NHKプラネット東北 Tel 022-215-1731 (受付時間 9:30～17:00)

保健だより

健診・相談・予防接種

健診・相談を下記のとおり実施します。

【3歳児健康診査】

- 実施日 12月13日(金)
- 対象者 平成22年6月生まれ及び7月生まれ
- 受付時間 12:00～12:30
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)

【12ヵ月児相談】

- 実施日 12月18日(水)
- 対象者 平成24年11月生まれ及び12月生まれ
- 受付時間 9:30～10:00(平成24年11月生まれ)
13:30～14:00(平成24年12月生まれ)
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)

【三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)予防接種】

- 接種日 12月17日(火)
- 対象者 平成18年7月生まれ～平成24年4月生まれ(生後3ヵ月～生後90ヵ月)
- 受付時間 13:00～13:10
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【不活化ポリオ予防接種】

- 接種日 12月17日(火)
- 対象者 平成18年7月生まれ～平成24年4月生まれ(生後3ヵ月～生後90ヵ月)
- 受付時間 13:10～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【四種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風・ポリオ)予防接種】

- 接種日 12月20日(金)
- 対象者 平成18年7月～平成25年9月20日以前生まれ(生後3ヵ月～90ヵ月) ※三種混合とポリオの予防接種をまだ一度も接種していない者
- 受付時間 13:00～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

※三種混合とポリオの予防接種をまだ一度も接種していない者

☎保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

資源リサイクルにご協力を！～プラスチック容器は汚れを取り除く～

- リサイクルセンターでは、「ごみの減量」のため、「資源のリサイクル」に積極的に取り組んでいます。リサイクルを行なっているもの
- ◎古紙(新聞、雑誌、段ボール、雑紙)
 - ◎紙パック(牛乳パックなど)
 - ◎空き缶(スチール缶、アルミ缶)
 - ◎びん(ビール瓶などの生きびん、色分けしたガラスカレット)
 - ◎ペットボトル
 - ◎プラスチック容器包装

資源のリサイクル作業を行う際にプラスチック容器包装やびん、ペットボトルの汚れやキャップの付いているものは、1本1本、1個1個を確認しながら選別作業を行っています。汚れの取れないものや、汚れの取れにくいプラスチック容器包装は「資源」として排出せずに、「燃えるごみ」に出して下さい。

「資源のリサイクル」の作業の軽減や経費の節減には、町民の皆さまのご協力が必要です。

※資源を出す時のチェックポイント

資源物	資源を出す時のチェック
空き缶	軽く、水ですすいでください
びん	ふたや栓を取り除き、水ですすいでください
ペットボトル	キャップを取り除き、水ですすいでください
プラスチック	水ですすぐ、拭きとるなど、汚れを取り除いてください
紙パック	水ですすいで、開いて、乾かしてください
古着	パンツなどの下着、靴下などを除いてください。ジャンパーなどの綿入りの物もリサイクルとなります

☎大槌町リサイクルセンター TEL 0193-42-7570

おらほの町の地域包括支援センター

楽笑幸 らくしょうこうれいしやになろう! せぬ者になろう!

ここでは、高齢者に関わる様々な話題を掲載しています。

笑いは百薬の長 知っていますか? 笑いの健康パワー

「笑う門には福来る」「笑いは百薬の長」など、笑いが健康に良いということわざを聞いたことがある方も多いですよね。医学的な面からも、笑いが健康に大きな効果があることが言われています。笑いはすぐ効き、よく効き、副作用のない薬になり、人生を豊かでうるおいのあるものにします。

笑いの健康効果

笑ったあとに、次のような変化が確認されています。

- 免疫力のアップ
- 食後の血糖値の増加が抑えられた(糖尿病の予防、改善)
- ストレスホルモンが消えたり、脳波がリラックスした状態に変わった(こころの健康)
- 脳の血流が増えた(認知症予防)

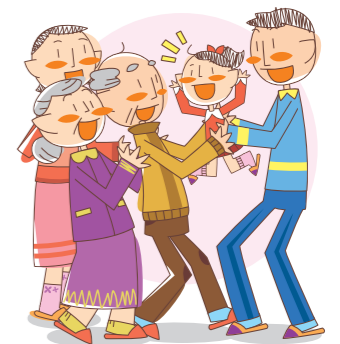
毎日笑って健康力アップ

毎日笑うために、積極的に笑う機会をつくったり、ユーモアや笑顔を忘れないようにしましょう。

- 面白いことは、心の底から楽しく笑う
- 自分の好きなことに打ち込む
- 落語や漫才、テレビ番組など、笑う機会を積極的につくる
- 家族や友人とのコミュニケーションの時間を大切にする
- 「好きなこと」をイメージする

鏡の前で笑顔チェック!

笑いの効果は実際に笑わなくても、つくり笑顔でも効果があることがわかっています。笑顔を心がけるだけで、周囲に笑いの輪が起き、その輪が本当の笑いを招いてくれます。



第2回大槌町鶴亀仙(川)柳コンクールを開催します!

募集期間
平成25年12月21日(土)～平成26年1月19日(日)

大槌町では、介護予防をテーマとした川柳を募集します。自分自身の介護への取り組みや思い、あなたの考える元気の秘訣、自分のおじいちゃん、おばあちゃんに元気で過ごしてもらいたいという気持ちを川柳にしてご応募ください。体と同様、頭の働きも使わないと衰えていきます。考えるということが頭の健康につながります。多くの作品を募集しておりますので、よろしく願いいたします。別紙の応募用紙に詳細を記載しておりますのでご確認ください。

☎保健福祉課 大槌町地域包括支援センター班 TEL 0193-42-8716

「第3回男性の料理教室」を開催します

男性の料理教室を下記の日程で開催します。料理初心者の方、料理に自信のない方でもお気軽にご参加ください。教室への参加を希望される人は、事前にお申し込みください。また、定員になり次第申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

- 対象者 町内にお住まいの男性
- 日時 12月19日(木) 10:00～13:00
- 場所 中央公民館 調理室
- 持ち物 エプロン、三角巾(タオルでも可)
- 参加費 無料
- 定員 15名

☎保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

特定健診等各種健診結果説明会を実施します

町では、11月5日～7日に実施した特定健診等各種健康診査を受診した人を対象に、下記日程で結果説明会を開催します。検査数値の見方や日頃の健康状態で気になることなど、保健師や管理栄養士が個別に対応しますので、ご参加ください。

対象者には、12月上旬に郵便で「健診結果」を送付しますので、ご確認いただき参加してください。

■持ち物 健診結果(必ずご持参ください)、お薬手帳など(現在ご使用しているものがある人)

■日程

日程	会場	受付時間
12月16日(月)	仮設保健センター(寺野) 吉里吉里地区公民館	9:30～10:30 13:30～14:30
12月17日(火)	大槌町役場3階大会議室	14:00～15:00

☎保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

ひょうたん島日記

海洋調査船「弥生」竣工 ～東大大気海洋研～

大槌町にある東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターの海洋観測船「弥生」の竣工式と一般公開が、11月12日、大槌漁港でありました。震災で大きく変化した海洋の生態系や環境を調べます。大槌を母港とする「新青丸」に続く海洋調査船の竣工に、漁業の復興と交流人口の拡大が期待されています。

「弥生」(12トン)は全長17.5メートル、幅4.2メートル、最大速度は24.1ノット。20人乗りで、総工費は1億3000万円。船体は強化プラスチック製で、水温や塩分を自動的に観測する装置や、大型の機器を積み込む設備を備えています。沿岸で観測データを集め、生物や海水を採集し、分析します。

竣工式では、東大大気海洋研の新野宏所長が「大槌湾内にとどまらず、湾外でも調査し、環境がどのように回復しているかを調べたい」と述べまし



た。碓川豊町長は「町の産業の柱である漁業の復興に向けて意義がある。弥生は町の誇り、町の財産」とあいさつしました。

国際沿岸海洋研究センターには、震災前、先代の「弥生」に、小型の船を含めて4隻の調査船があり、すべて震災で流失しました。昨年夏までに、小型船3隻は復旧し、「弥生」の完成が待たれていました。

復興願って東京に集う ～ふるさと大槌会に100人～

「ふるさと大槌会」の今年の総会と交流会が11月16日、東京都内のホテルでありました。首都圏を中心に約450人いる会員のうち、100人を超える会員が参加しました。碓川豊町長が復興について報告し、質疑を交わした後、お互いに旧交を温めました。

ふるさと大槌会は首都圏在住者により1987(昭和62)年に発足しました。会員相互の親睦と、町の発展に寄与することを目的に、年1回の総会と交流会を開いています。役場に保管してあった会員名簿が震災で流失したために集め直し、450人の名簿を復元しました。

ふるさと大槌会は震災後、故郷を支援する活発な活動を続けています。今年は、震災時に、町民が撮影した写真を展示した「リメンバー大槌」を東京、大阪、盛岡などで開催し、反響を呼びました。また、復興支援基金をつくり、小中学校に約200



万円相当の学校備品などを寄付してきました。

会長の金崎雄三郎さん(69)は「会員に若い人たちが加わり、活動が積極的になってきました。故郷の早期復興が会員全員の願いです」と話しています。

毎年、参加している永野弘子さん(77)は「震災直後と比べると、皆さんの表情が明るくなりました。年1回、懐かしい人たちに会えるので楽しみにしています」と語ってくれました。

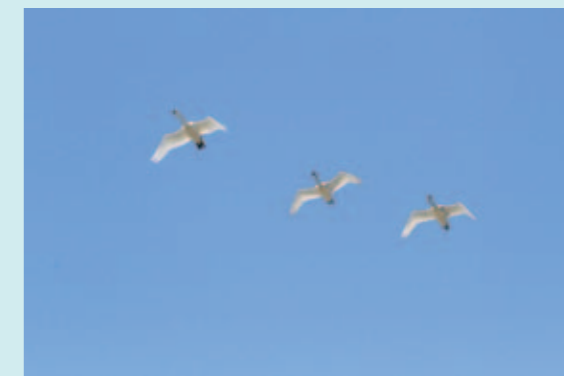
PHOTO まちかど



「沢山の道端のクリ木にクリの実がなっていました。沢山は果樹園が多く、自然豊かな場所です。震災後の復興事業によって、地域は大きく変わります。クリの木も伐採される予定です」【10月8日、伊藤陽子さん撮影】

総合政策課では読者の皆さまからのニュース提供をお待ちしています。町民の方々に広く知ってほしい出来事があれば、お知らせください。「PHOTO まちかど」への写真投稿も歓迎です。変容する町の姿、震災前から変わらない町の光景を写真で切り取り、お寄せください。また、広報誌への感想や提言を、お送りください。はがき、手紙の場合は、住所、氏名、連絡先(電話番号など)を明記のうえ、〒028-1192 大槌町上町1-3 大槌町役場総合政策課・広報誌担当へ。

総合政策課 企画調整班 TEL 0193-42-8724 E-mail : sougouseisaku@town.otsuchi.iwate.jp



「ハクチョウが越冬のために南下しています。大槌川の橋のたもとからコハクチョウ3羽を撮影しました。さらに南下しようとしているのか、エサを求めようとしているのか。優雅な姿が印象的です」【10月14日、三浦寧史さん撮影】

3年目の仮設 ～より良き暮らしのために～

被災者励ます岸和田だんじり ～和野の仮設団地～

大槌町の仮設住宅に住む被災者を励ましたいと、11月17日、大阪府岸和田市の岸和田だんじりが、和野の仮設住宅で、だんじりを披露しました。小春日和の中、子どもたちからお年寄りまでがだんじりを引き、勇壮なだんじりをちょっぴり体験しました。

岸和田市で市民有志による「絆だんじりプロジェクト」が結成され、だんじりを伴って被災地を訪れています。この日、大槌町の旧役場庁舎前で、だんじりを引き、震災の犠牲者を追悼。その後、和野地区の仮設住宅を訪れ、午前と午後の2回にわたって、住民がだんじりを引きました。

仮設住宅に住む関トシ子さん(64)は午前も午後も綱を引きました。「運動不足が解消されました。いい汗をかきました」。岸和田市に住むプロジェクト代表の梶野康博さん(57)は「皆さんに喜んでもらってうれしい。岸和田からきたかいがありました」と話しました。



町長随想

⑧ 今年の流行語

今年の流行語の候補に、国民的に話題となった「お・も・て・な・し」「今でしょ」「倍返し」「じゃええ」「じゃええ」などがノミネートされた。いずれもうなずくことができる流行語である。

東日本大震災津波から、12月5日で節目の千日。歳月が流れる中で、「二日も早く」が、復興に関する会議の挨拶や、被災者同士の会話で自然に使われている言葉である。

様々な場面で、多くの皆様から「復興がなかなか進まない」と、お叱りを受ける。目に見える形で工事が始まらないと、町民皆様の焦慮感が収まらない。そのような中、復興工事に関連した一体的業務の安全祈願祭が、11月に吉里吉里、浪板、安渡、赤浜、小枕・伸松地区で行われた。すでに6月に工事が始まっている町方地区に、これらの地区が加わることで、全町で工事が本格化することになる。

これから先、事業の許認可や土木技術職員の確保、土地の確保、業者の確保など、様々な課題が挙げられる。もう嘆いている暇がない。土地などの基盤整備のほか、医療、福祉、教育や産業の再生など、理屈抜きに進めなければならない。

誰も経験したことのない壊滅的な打撃を受け、その逆境からの再生に、町民の皆様始め多くの支援団体の皆様に、真剣に取り組んでいただいている。言葉では言い尽くせないほど感謝の気持ちである。来年は、午年である。「人間万事塞翁が馬」という、馬にちなんだ中国のことわざがある。人間の吉凶禍福は変転し、予測できない。人それぞれ何が福となるか安易にわからないが、「良かった良かった」が流行語になる日が一日も早く来ることを願う。

(碓川 豊)



城山の風

発行：大槌町教育委員会 第70号 25. 12. 5
 岩手県上閉伊郡大槌町小槌 32 金崎 126 TEL 42-6100

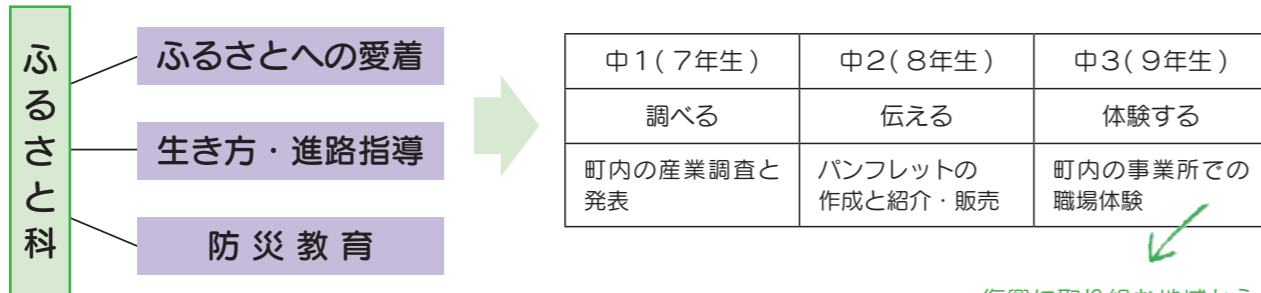
教育行政基本理念

町づくりは
 人づくりにあり
 人づくりは
 教育にあり

キャリア教育(生き方を考える)＝ふるさと科の3本柱の1つに

27年度から導入される小中一貫教育でのふるさと科の3本柱の1つである「キャリア教育」の取り組みが始まっています。「キャリア教育」は、生活や人生の中で、どのように「働くこと」を意味づけていくかという、人それぞれの生き方や価値観、勤労観、職業観を育てるまなびで、小学校から発達段階に応じて進められます。

大槌中学校での取り組み



◇町内の人・産業と、発達段階に応じたテーマで取り組み関わりを深めていきます。

郷土の歴史	産業	文化	災害	地誌
	たたら・新巻…農林水産	地名の由来・先人の業績…	津波・風水害・火災…	大地の変化・太平洋の地層、火山の名残り花崗岩…

スマイルタイム

小中連携：ボランティア活動・復興教育

リアスタイム

地域連携：ゲストティーチャー・復興教育

グローバルタイム

全国連携：ゲストティーチャー・復興教育



復興に取り組む地域から、生きる力、ふるさとを創生することの意義を学び、郷土愛を高めるとともに、正しい職業観、人生観を育みます。今年度は、町内51事業所の協力を頂いて職場体験を実施できました。



職場体験の様子

◇各校の終業式◇

大槌小学校 } 12月25日
 吉里吉里小学校 }
 大槌中学校 — 12月20日
 吉里吉里中学校 — 12月24日

各校の「くらしのきまり」を守り、事故のない、有意義な冬休みを過ごせるよう「声かけ」をお願いします。



教育委員会定例会レポート(10・11月)

10月定例会では、事務報告2件が事案となりました。

- ①教育委員会事務局職員の人事異動
 - ・生涯学習課職員の町部局への異動
- ②海洋センター(B&G プール・艇庫)の設置及び管理に関する条例の廃止
 - ・東日本大震災津波により、全壊又は流失した施

設の用途廃止に伴う条例を廃止する。
 11月定例会は、21日(木)に開催され、諸般の報告に続いて、議案1件が審議され議決されました。

【議案】 史跡の一部解除及び現状変更の文化財保護審議会への諮問について
 ・土地区画整理事業に伴う町指定史跡「御社地」の現状変更、復元整備について

脱穀で実りの秋を実感!!

大槌小稲作体験学習のまとめ

大槌小学校で農業体験学習として取り組んできた米作りのまとめとして、脱穀・収穫祭が行われました。

脱穀は、藤原市之助さんの指導で、「千歯こき」と「唐箕」を使って行われ、作業の大変さを実感しました。

作業後は、「つつじの里」の皆さんの協力でモチつきが行われ、重い杵にバランスを失いながらも大歓声があがっていました。つきあがったモチはあんこモチなどにして振る舞われ実りの秋を楽しみました。

春の田植えから脱穀までの一連の作業をする中で、自然の恵みの大切さと働くことの意味を学ぶとともに、自分たちの地域を改めて見直す貴重な体験、機会となりました。



心ひとつに響く調べ 芸術の秋の締めくくりに連合音楽会

芸術・文化の秋を締めくくる、町内小中学校連合音楽会が開かれました。会場となった城山公園体育館には、小・中4校の代表と大槌中学校、大槌高等学校の吹奏楽部の皆さんと多くの町民が来場しました。

吉里吉里小学校4年生は、合唱と合奏でふるさとへの思いと希望の明日へ旅立ちを「赤とんぼ」「A列車で行こう」などに込めて力強く表現しました。

大槌小学校4年生67名は、八神純子さんとの出会いで生まれた曲「枯れ木に花をさかせましょう」「ふるさと」をしつとりと歌い上げました。

中学生は、大槌中学校の2、3年生、吉里吉里中学校の全校生徒が出場し、練り上げられた完成度の高い

合唱を披露しました。中でも、大槌中学校3年生全員107名による「名づけられた葉」、吉里吉里中学校全校生徒70名による「地球星歌～笑顔のために～」は、素晴らしいハーモニーとスケールの大きさとで会場を圧倒しました。

吹奏楽の部に出場した大槌中学校吹奏楽部と大槌高等学校吹奏楽部は、軽快なリズムとテンポのよさで会場に一体感をもたらしました。

NHKの朝ドラで一大ブームとなった「あまちゃん」のオープニングテーマが演奏されると会場は大いに沸きました。



大槌小学校



吉里吉里小学校



吉里吉里中学校

まちのお知らせ

行政相談について

行政相談委員が相談に応じます。
■日時 12月10日(火)10:00~12:00
■会場 大槌町役場1階 相談室1
■相談委員 若生 晃さん
☎ 総務課総務班 Tel 0193-42-8710

人権相談について

身のまわりで起きた人権問題(いじめ、虐待、家庭内暴力、離婚、扶養、相続問題、近隣関係、セクハラ、借金問題、その他困りごと)について、法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員が相談に応じます。
■日時 12月10日(火)10:00~12:00
■会場 大槌町役場1階 相談室2
☎ 町民課町民生活班 Tel 0193-42-8713

思い出の品返還展示会

○常設展示場オープン
 これまでの仮設住宅巡回展示会に加えて、常設展示場をオープンしました。震災時に収集された品のすべてを保管・展示しています。
■常設展示会場
 マスト裏(元マストの湯付近)
■主な展示物 写真・アルバム・賞状・トロフィー・ランドセル・位牌など。
■開場時間 9:00~17:00
■定休日 年末年始の5日間(不定休あり)
 ※仮設住宅巡回展示会も同時に行っています。詳細については下記問い合わせ先までご連絡ください。
☎ NPO法人まちづくりぐるっとおおつち
 Tel 0193-55-5221

いわて年末年始無災害運動

岩手県内の労働災害は平成22年以降3年連続して増加しております。加えて東日本大震災の復旧・復興工事等が本格化・加速化することによる労働災害リスクの顕在化も懸念され、より一層の労働災害防止活動の推進が求められます。
 これから年末年始の慌ただしい時期を迎えます。寒さや雪による冬期特有災害や転倒災害を防止しましょう。
■スローガン 安全・安心・家族の笑顔 願いはひとつ 年末年始も無災害
■実施期間 12月1日~平成26年1月31日
☎ 岩手労働局労働基準部健康安全課
 Tel 019-604-3007

花のある大槌町内の風景 写真展示会

花いっぱいプロジェクトチームでは、皆さまからの公募によるポストカード制作を進めています。第二次募集で応募された作品を中心に、下記日程で展示会を開催し、皆さまの投票により今回の制作分の7点を決定したいと思います。
 あわせて、これまでの活動報告の展示と第一次制作分のポストカードを販売します。
 皆さまお誘い合わせのうえ、展示会場にお立ち寄りください。
■日時 12月13日(金)12:00~18:00
 12月14日(土)10:00~18:00
 12月15日(日)10:00~15:00
■会場 シーサイドタウンマスト1階センターコート
■主催 大槌町花いっぱいプロジェクトチーム
☎ 阿部智子 Tel.080-6006-0974
西館明美 Tel.080-5578-7383

おめでた・おくやみ(敬称略)

10月15日~11月15日分
【出生】
 里 館 璃 乃(崇 宏・安 渡 二)
 川 原 理 央(孝 行・赤 浜 二)
 三 浦 唯 楓(一 樹・須 賀 町)
【婚姻】
 {小 國 晃 也(安 渡 三)
 {高 橋 由 香 里(陸 前 高 田 市)
 {菊 池 直 明(蔵 打 直)
 {小 渡 明 子(蔵 打 直)
 {一 兜 英 之(大 ヶ 口 一)
 {佐 藤 有 沙(釜 石 市)
 {大 坂 直(新 町)
 {市 川 美 生(釜 石 市)
【死亡】
 金 濱 彌 二 郎(84・本 町)10/20
 祝 田 力(64・上 町)10/20
 墓 野 義 男(74・浪 板)10/24
 関 谷 榮 二(68・吉里吉里三)10/26
 久 保 静 男(72・浪 板)10/28
 佐 野 八 重 子(70・吉里吉里三)10/29
 藤 原 志 郎(81・桜 木 町)10/30
 佐 々 木 タ ケ(88・安 渡 三)11/3
 北 田 正 雄(83・吉里吉里四)11/4
 三 浦 ハ ナ ヨ(82・大 ヶ 口)11/6
 東 梅 サ タ(85・白 沢)11/7
 佐 々 木 ミ ヨ(65・白 沢)11/7
 佐 々 木 喜 十 郎(81・対 間)11/9
 釜 石 清 吉(82・吉里吉里一)11/12

無料法律相談について

岩手弁護士会では、下記のとおり無料法律相談会を開催します。
■日時
 12月11日(水)、17日(火)、24日(火)
■時間 10:00~15:00
■会場 釜石市消費生活センター
 ※事前予約制となります。下記問い合わせ先で予約して下さい。
☎ 釜石市消費生活センター
 Tel 0193-22-2701

町内各地の放射線量についてお知らせします

町内の放射線量測定結果についてお知らせします。結果は下の表のとおりです。なお、国の除染基準は0.23 毎時マイクロシーベルトです。
☎ 町民課 町民生活班 Tel 0193-42-8713

測定地点	11月12日(火)時点	測定地点	11月12日(火)時点
小釜小学校仮設団地	0.085	大槌第5仮設団地(和野橋下流)	0.069
小釜仮設団地(佐野屋球場)	0.083	金沢小グランド	0.061
大槌町役場	0.077	桜木町中央公園	0.083
安渡第2仮設住宅(旧小学校)	0.075	源水(屋敷前)	0.067
赤浜小学校グラウンド	0.055	大ヶ口公園	0.069
吉里吉里中学校仮設団地	0.069	沢山地区(高森団地)	0.067
吉里吉里第5仮設団地(駅公園)	0.069	沢山地区(郵便局脇)	0.083
吉里吉里第2仮設団地(浪板)	0.087	花輪田定住促進住宅裏	0.057
大槌第7仮設団地(大柁橋下流)	0.081	測定地点平均値	0.074

商工労政課からのお知らせ

▼産業再生復興特区に基づく税制などの優遇措置を活用する事業者のみならずへ

岩手県では復興推進に取り組む事業者を支援するため、東日本大震災復興特別区域法に基づき「岩手県産業再生復興推進計画(産業再生特区)」を策定しています。これにより、市町村ごとに設定した産業再生区域内で、県が指定している産業を営む事業者が、新規投資や被災者雇用などの一定要件を満たし、県からその事業計画等の指定を受けることにより、税制の優遇措置等を受けられる場合があります。
【産業再生特区の主な優遇措置】
 ①工場などを取得した場合の特別償却または法人税額などの特別控除
 ②被災雇用者などを雇用した場合の法人税額などの特別控除
 ③新規立地促進税制(新規立地新設企業を5年間無税とする措置)
 ④開発研究用資産の特別償却など ※(1)~(4)は国税の税制優遇措置です。
 ⑤地方税(事業税、不動産取得税、固定資産税)の減免 ※⑤は①、③、④のいずれかの指定を受けていなければ該当になりません。
【県が指定している産業】
 セメント、鉄鋼、電子機械製造、輸送用機械器具、医薬品、情報

サービス、木材、環境負荷低減エネルギー、観光、食品、水産、農業に関する産業
●制度の詳細については、岩手県のホームページ内の復興関連情報ポータルサイト「いわて復興ネット」(産業再生特区)でご確認ください。

【ご注意】固定資産税の免除について

H25年1月2日以降に整備した事業資産については、H26年1月1日現在で所有している事業用資産として固定資産税の課税対象となります。(免除手続き期限 H26年1月31日)
 したがって、産業再生特区に係る税制優遇を活用し、H26年度課税予定の固定資産税の免除を希望する場合は、決算期前まで、かつ、H26年1月31日前までに、県による事業者指定を受け、町税務会計課にて固定資産税免除申請をする必要があります。

☎ 産業再生特区全般に関すること 岩手県復興局産業再生課
 Tel.019-629-6931
 ・固定資産税の免除に関すること 町税務会計課
 Tel.0193-42-8711

大槌町カレンダー 12月5日(木)~1月4日(金)

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
5(木)	さわやかストレッチ教室(13:30~)	午前:内科、外科 午後:内科、皮膚科
6(金)		午前:内科 午後:内科
7(土)		完全休診(急患受付なし)
8(日)		完全休診(急患受付なし)
9(月)	のびのび広場(9:30~)	午前:内科 午後:内科、整形外科
10(火)	のびのび広場(9:30~) 行政相談(10:00~12:00) 人権相談(10:00~12:00)	午前:内科、皮膚科、眼科 午後:内科、皮膚科
11(水)	無料法律相談(10:00~15:00) 助産師さんの日 のびのび広場(9:30~12:00) いちごくらぶ(10:00~12:00)	午前:内科、整形外科、皮膚科 午後:内科
12(木)	元気活いき運動教室(13:30~) のびのび広場(9:30~) 心配ごと相談(9:30~12:30)	午前:内科、外科 午後:内科
13(金)	3歳児健康診査 のびのび広場(9:30~)	午前:内科 午後:内科
14(土)	保育園おゆうぎ会	完全休診(急患受付なし)
15(日)		完全休診(急患受付なし)
16(月)	産業集積地に関する事業者向け説明会(19:00~) のびのび広場(9:30~)	午前:内科、整形外科、眼科 午後:内科
17(火)	三種混合予防接種 不活化ポリオ予防接種 無料法律相談(10:00~15:00) のびのび広場(9:30~)	午前:内科、皮膚科、外科 午後:内科、皮膚科
18(水)	12ヵ月児相談 65歳到達者健康教室(13:30~14:30) のびのび広場(9:30~)	午前:内科、皮膚科 午後:内科
19(木)	さわやかストレッチ教室(13:30~) 男性の料理教室(10:00~13:00) クリスマス会(10:00~12:00) のびのび広場(13:00~14:00)	午前:内科、外科 午後:内科

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
20(金)	四種混合予防接種 東大教室@大槌 臨床心理士相談(10:00~15:00) のびのび広場(9:30~)	午前:内科 午後:内科
21(土)		完全休診(急患受付なし)
22(日)		完全休診(急患受付なし)
23(月)		完全休診(急患受付なし)
24(火)	無料法律相談(10:00~15:00) のびのび広場(9:30~)	午前:内科、外科、皮膚科、眼科 午後:内科、皮膚科
25(水)	のびのび広場(9:30~)	午前:内科、整形外科、皮膚科 午後:内科
26(木)	元気活いき運動教室(13:30~) のびのび広場(9:30~)	午前:内科、外科 午後:内科
27(金)	のびのび広場(9:30~)	午前:内科 午後:内科
28(土)		完全休診(急患受付なし)
29(日)		完全休診(急患受付なし)
30(月)		午前:内科 午後:内科
31(火)		完全休診(急患受付なし)

1月		
1(水)		完全休診(急患受付なし)
2(木)		完全休診(急患受付なし)
3(金)		完全休診(急患受付なし)
4(土)		完全休診(急患受付なし)
5(日)		完全休診(急患受付なし)

※大槌病院外来日程は都合により変更となる場合があります。ご了承願います。
 ※心配ごと相談は、大槌町社会福祉協議会で実施しています。相談内容についてはお問い合わせください。
☎ 大槌町社会福祉協議会 Tel 0193-41-1511
 ※のびのび広場では、大槌保育園を解放し、親御さんや子どもたちの交流の場を提供し、子育てに関する気軽な相談を行います。
☎ 大槌町地域子育て支援グループかりん Tel 0193-42-2570

大槌学の すゝめ

⑧ 軟水とお豆腐

「ちりとてちん」という落語。朝のNHK連続テレビ小説のタイトルにもなりましたから、ご存じの方も多いことでしょう。江戸時代の大坂で創作。知ったかぶりの隣人にギャフンと言わせようと、腐った豆腐に味付けをして「長崎名物ちりとてちん」だと騙して食べさせ、サゲで「腐った豆腐の味がします」と隣人。

豆腐は、種類によって多少異なりますが、80%以上が水分。水の善し悪しが豆腐の味を大きく左右していて、おいしい軟水が不可欠だといえます。

京都にある、総合地球環境学研究所の地質や水分析の権威、中野孝教授の調査研究によると、大槌の湧水は、硝酸やリン酸も少なく、つまりは人間の社会生活による影響が見られず、ヒ素、カドミウム、鉛などの重金属元素も水質基準よりはるかに低いとのこと。重金属元素といっても心配が無用、地中の岩石に含まれる、自然界に普通に存在する微量元素。極一部の井戸で鉄分が検出されるのは、古い鉄管が原因、とも。軟水は硬度が0〜60とされ、大槌の湧水は30から40くらい。よって、軟水であることがわかります。

震災前、八日町の「栄七屋商店」が唯一の豆腐店。かつては新町に「阿部

豆腐店」とかもありました。この「栄七屋商店」、当然ですが地下水を利用していました。町内の農家にもお願いして、原料である大豆も地物を使用していたのですが、供給が追いつかなく、他からのものも。それにしても、できたてのおぼろ豆腐、絶品でした。

名水のところは、お酒だけではなく豆腐も美味しいとされています。愛媛県西条市や福井県小浜市、京都も。宿の朝食には、当然の如く豆腐が供されます。大槌の場合、大型の観光ホテルでも、朝食バイキングに「栄七屋商店」の豆腐が出されていました。

水のまち「大槌」、美味しい水が造り出す至高の豆腐、賞玩できる日が待たれます。

大槌弁で「すつかかまり（※1）」とか「あめる（※2）」。「ちりとてちん」の豆腐がそうだったのでしょうか。

豆腐を豆腐と表記するお店もあるようです。来る年を、心も富むようにしたいものです。

※1 食べ物が腐った時に出る酸っぱいような臭いのこと。

※2 食べ物などが腐って食べられなくなる。転じて、人が疲弊し、あるいは酔っ払って役に立たなくなった時にも用いる。

（大槌町教育委員会事務局生涯学習課長 佐々木健）



震災前、西条市で、ある学会の集まりがあり、そのときのパワーポイントのデータを、市の担当者が保管してくれていたおかげで、この写真をここに掲載できました。

水のある暮らしが当たり前のような大槌ですが、世界を見回すと、水不足や水を巡る衝突が頻発しています。水のこと、見つめ直す好機かもしれません。

編集後記

▼今月号は、「みんなで考えるJR山田線の復旧」をテーマにしたシンポジウムを、特集の一つとして取り上げています。特集にはシンポジウムの際に大槌高校生が発表した内容を掲載しています。スペーの關係で全文掲載することが出来ませんでした。それでも高校生の切実な思いが伝わってきます。ぜひ、読んでいただきたいです。（白野）

▼大槌湾の秋サケ定置網漁の漁船に同乗しました。最新鋭の漁船に代わって甲板が広く、乗組員は作業をしやすそうでした。同乗した日は、たまたま昨年、同乗した日と同じ11月14日で、漁獲量は昨年を大きく上回りました。サケは4、5年後に母なる川に戻ってきます。今シーズン戻ってきたサケは、震災前に放流されたサケたちです。来シーズン以降も、震災の影響を乗り越えて帰帰し続け、海の恵みをもたらしてほしいと切に願います。（但木）